

□なぜ野口英世の本を選んだかと言うと、だからです。

□野口英世は1876年に福島県の村の貧しい家に生まれました。今から140年以上も前です。子どものころ、
やけどをして左手が自由に使えなくなりました。もし私なら、

だと思いました / だと感じました。

□手が不自由だということはいじめられても、負けずに / くじけることなく / いじめっ子を見返すために
人一倍勉強をしました。私は英世のがんばりに / 努力に / 一生懸命さに

と思いました / と感じました。

私も【くやしさをバネにがんばった体験 / 負けたくないから努力した体験】①状況の説明：いつ・どこで・

だれが / だれに ②行動：きっかけ / 理由・何を・どうした・どのように / どのくらい・なぜ / どうして

③状況 / 心の変化：どうなったのか、どう思ったのか、何が変わったか ということがありました。

そのこと / 経験から、(強い心で頑張る / 負けない！という強い意志が大切 / ケンカではなく勉強で見返す)

だと思いました / という気持ちがわかります。

□英世は人の何倍も / 誰よりも / 寝る時間もおしんで 勉強をして、研究や、仕事もしました。

私は と思いました / と感じました。

□そんな風に一生懸命な / 努力し続ける 英世を支えてくれる人たちがいたことを知って、私は

と考えました / と共感した。

□なぜなら、【努力し続けて認めてもらえた・協力してもらえた体験 / がんばっている人を応援しようと思った
体験】①状況の説明 ②行動 ③状況 / 心の変化 ということがあったからです。

そのこと / 出来事から、(一生懸命がんばると認めてもらえる / 地道な努力でも誰かが見ていてくれる /

コツコツと続けていると応援したくなる) と思いました / という気持ちがわかります。

□英世は左手にやけどをしてハンデキャップがあったかもしれないけれど、

と思いました / と感じました。

もし、英世が子どものころいじめられて勉強することも、将来のこともあきらめてしまったら、

と思いました / と考えました。

だから、ハンデキャップということは

なのではと思えるようになりました / 考えられるようになりました。

□英世はヘビの毒や伝染病を研究することで、世界中の人々を助けることになりました。英世が51歳で息を引き取るまで黄熱病の研究を続けていました。黄熱病の研究のためエクアドル、メキシコ、ペルー、ブラジル、アフリカへと向かいました。最新式の検査機器がない当時の研究は今よりももっとむずかしかったと思います。

□のちの研究で、黄熱病の正体は細菌よりも小さいウィルスであったことがわかりました。その当時の顕微鏡では見つけることができない小さいウィルスを発見するために英世は研究を続けていたのです。

私は英世は / 英世の業績は

なのではないかと思いました / 考えました。

□私は今でも英世の業績が世界中で認められていることを知って、

と思いました / 感じました。

□もし、英世がいなかったら / 英世の発見がなかったら

なのではないかと思いました / 考えました。

□今もなお、多くの人に影響を与え、感謝されている野口英世は、

なのではないかと思いました / 考えました。

□今でも世界中のあちこちで、たくさんの病気が発生しています。細菌やウィルスなど目に見えない病原体と戦っている医師や研究者がいると思います。私は

と思いました / 感じました。

そして、これからはそういったニュースを見たとき、

と考えるように / 思い出すようにしたいです。

□野口英世の伝記を読んで、一番感動した / 記憶に残った / みんなに教えたいことは、

です。

なぜなら、

だからです。

□伝記を読んで歴史上の人物について知るということは、その人の人生 / 生き方 / 考え方 から

ということを学べると思います。

□英世が実際に生きてきた人物だからこそ、身近に / 現実的に / 興味を持って / 共感して 読むことができました。

□私は野口英世の人生 / 生き方 / 考え方 から、

ということを感じました / 学びました / かんがえるようになりました。